

謹賀新年
本年もよろしく
お願い致します

泉北教育

NO.2029 2016.1.12.
発行 泉北教職員組合
〒594-0071 和泉市府中町6-12-2
0725-41-1953 Fax0725-44-6570
E-mail senboku@gf6.so-net.ne.jp

和泉・高石 市教委交渉

高校入試制度を毎年変えることは 問題であると考え（高石市教委）

泉北教組は、来年度予算について、和泉市、高石市の教育委員会事務局と交渉を行いました。その中で、和泉市教委は、小中一貫教育や、給食の民間委託について「検証」する、教科書を選定する教育委員会会議の傍聴者数については、「増やす方向で検討する」。

高石市教委は、洋式トイレ設置については「できるだけ早い段階で計画案を出したい」、評価育成システムの「賃金リンク」は課題と考えているなど、前進的な回答を得ました。なお、文書回答全文は各分会に一部ずつ送付しています。今回の交渉の中で、「大

阪府チャレンジテスト」についてどう考えるか」という泉北教組の問いに対して和泉市、高石市の回答は左記のように大きく異なるものでした。高石市教委は、「（問題と思われる）点を府教委に指摘した」「入試制度を毎年変えることは『問題である』と考える」など、

大阪府チャレンジテストについて

【泉北教組の要求】

中学校教育に大きな歪みをもたらしている「大阪府チャレンジテスト」の中止を府教委に強く求めること。

【交渉での各地教委の回答】

高石市教委

「チャレンジテスト」について、以下の点を府教委に指摘した。

- ・試験範囲が決められており、学校での授業があわただしいものになっている。
- ・学校での評価と「チャレンジテスト」結果の評価が違えば、学校での評価が修正される。絶対評価といながら問題である。
- ・5教科のテスト結果で全体の評価を拘束する方法は、課題があると認識する。

高校入試制度を毎年毎年変えることは「問題である」と考える。

和泉市教委

大阪府公立高校選抜制度変更により、「大阪府チャレンジテスト」の結果をもとに、選抜に使われる調査書の評価（内申点）の範囲が規定されるものである。

市教委の考えを表明しているのに、和泉市教委は、府教委の考えを説明するのみで、市教委としての考えは全く示しませんでした。（裏面に続く）

教育のつどい大阪2015

教科別分科会
1月17日（日）9時30分～
高槻市立桃園小学校

問題別分科会
1月24日（日）9時30分～
茨木市立東中学校

泉北からのレポート

- ・泉北での中学校教科書採択のたたかい
岡澤文彦
- ・和泉市自校直営学校給食を守るたたかい
堀崎光人
- ・和泉市の小中一貫教育と学校統廃合
片上寿子

（いずれも問題別分科会）

地教委は府教委の下請け機関ではない

改定された「地教行法」でも、府教委が地教委にできることは「指導・助言・援助」であり、各地教委が市町村の教育に責任を負う制度に変更はありません。「大阪府チャレンジテスト」についても府教委は、大教組に対し法的な根拠が無いことを認めており、地教委に参加を強制することはできません。橋下府政時代に府教委が行った「大阪府学力調査」に、学校序列化につながる可能性があるとして、和泉市教委や高石市教委は参加しませんでした。

和泉市教委の回答にあるように、不当にも府教委は「大阪府チャレンジテスト」を高校入試に使用します。私たちは各地教委に「不参加」を要請しますが、仮に参加する場合でも各地教委が府教委に対して問題点を指摘するのは地教委の役割だと考えます。ところが和泉市教委事務局は、泉北教組との交渉の場で府教委の説明を繰り返すばかりでした。その態度は、他の地教委と比べて極めて異様です。地教委は府教委の下請け機関ではありません。地教委事務局が教育委員会制度の趣旨にそった役割を果たしてほしいものです。

「戦争法」発動反対。子どもたちや自衛隊員を戦場に送るな。